

忍耐と自律

塩釜高等学校長 遠藤 秀樹

満開の桜の下、グラウンドや体育館からは高校総体に向けて気合いの入った練習の音が響きわたる。新入生は、真新しい制服に包まれ、先輩方の雄姿に胸を躍らせ、数年後の自分の姿と重ねながら部活動見学に余念がない。4月、多くの高校ではこのような光景が当たり前のように見受けられます。

現在は、生徒の元気な声を学校の中で聴くことができないことは残念でならない。恐らく生徒の皆さんも、友たちと会うことができず、好きな部活動をすることもできず、大変悔しい思いをしているのではないかと思います。また、相次ぐ臨時休業に嫌気がさしている人も多いことと思います。

しかしながら、今は、国やいくつかの自治体が緊急事態宣言を出すほど危機的な状況にあることを一人一人が認識し、節度ある行動をとらなければならない時期であります。自分や身近にいる大切な人の健康と命を守るためには、とにかく耐え忍ぶしかない。学校が再開され、みんなの笑顔が学校に戻ってくる時まで、お互いに我慢するしかないのです。

臨時休業の長期化にともない、私から皆さんに次の点をお願いしたいと思います。

休みが続き過ぎると生活のリズムが崩れがちになり、運動不足にもなります。自分なりの生活時間を守り、家の周辺でのジョギングやトレーニングをするなどして、心身の健康を保てるように努めてもらいたいと思います。また、この時期、自分の健康は自分で管理することが極めて重要です。うがい、手洗い、咳エチケットを励行するとともに、十分な栄養と睡眠をしっかり確保することを心がけましょう。

また、入学式、始業式から約1月間、臨時休業が続くこととなりますが、この間、授業で扱うことになっていた学習内容については、各教科から学習課題を配るので、家庭において計画的に自学自習に取り組んでください。今回の学習課題は授業の代わりに行うもので、学校再開後に授業の中で復習の時間を設けるように工夫したいと考えていますが、多くの時間を割くことは難しいと思われます。6月に予定されている定期考査の範囲となる教科も多いと思います。分からない内容については、電話やメール、個別に学校で質問を受け付けるなど、様々な手段で先生方がフォローしますので、遠慮なく質問や相談をしてもらいたいと思います。

最後に、このような時だからこそ、普通に学校に登校してはできないことを考えてもらいたい。数年後には、皆さんは一人の社会人として自立した生き方が求められます。その時に向けて、勉強にしても、時間の使い方にしても、自分の健康管理にしても、自分の力で何をどこまでできるか試してもらいたいと思います。始めからすべてをうまくできる人はいません。試行錯誤を繰り返しながら、人は成長するものです。周りの大人の指示でしか動くことができないことから脱却し、自分で自分をコントロールすることができる、自律する人として成長する機会としてこの期間を有効に活用してもらいたいと思います。

学校で皆さんと笑顔で再開できる日を楽しみにしています。